

他者からの言葉によるパフォーマンスへの影響

神吉梨乃佳

[1] 問題

他人からの言葉で影響を受けたことのない人は恐らくいない。筆者自身も周りからの言葉でパフォーマンスへ影響が出ることがある。

田中（2008）は、ゴルフ初心者を対象とし、観衆に見られ、さらにパフォーマンス次第で賞金を獲得できるというプレッシャー下で課題を行わせる実験により、プレッシャー下において運動速度および運動加速度が増加するという結果が出た。

清本（2017）は、2つのボックスの中にそれぞれ10個の数字が表示され、それぞれのボックス内の数字のうちどちらが大きいのか、または、等しいのかを選択し、結果画面で“ほめあり”と“ほめなし”を表示するという実験により、“ほめあり”の方が全体では正解数、解いた問題数、正解率の全てのパフォーマンスが上がるという結果が出ている。

このことより、賞賛する言葉をかけても圧力をかける言葉をかけても、パフォーマンスに良い影響を与えることがわかっているが、賞賛する言葉と圧力をかける言葉を比較した場合、どちらの方がパフォーマンスにより良い影響が与えられるのかを本研究では検証した。

[2] 方法

① 被験者

15歳から17歳までの女性60名。

② 実験計画

被験者内1要因計画（個別実験）

③ 刺激

賞賛する言葉として「すごいですね。この調子で次も頑張ってください。」、圧力をかける言葉として「○回目は失敗しないようにしっかり注意して○回目よりも多くとれるようにしてください。」と声をかけた。

④ 材料

皿、箸、豆

⑤ 手続き

被験者は制限時間20秒の間で右側の豆の入った皿から箸で豆を掴み、左側の皿にでき

るだけ多く豆を運んだ。練習試行の後、賞賛する言葉、プレッシャーを与える言葉、何も声をかけない統制条件をカウンターバランスをとって合計3試行した。

[3] 結果

表1 賞賛、圧力、統制のそれぞれの平均値（個）

統制	5.3
賞賛	6.2
圧力	6.1

統制と賞賛、統制と圧力では有意差がみられた。 $(p<.0.1)$ しかし、賞賛と圧力では有意差は見られなかった。

この結果により、何も言葉をかけないよりも賞賛する言葉や圧力をかける言葉をかける方が良い影響を与えることが確認できた。

[4] 考察

賞賛する言葉をかけられて結果が良くなった人もいれば、圧力をかける言葉で結果が良くなった人もいた。

このことから賞賛と圧力は相手の言葉の受け取り方やその人の性格が関連し、それが結果に影響するのではないかと考えた。賞賛する言葉をかけたとしても受け取り方により圧力を感じることもあり得ると思った。賞賛する言葉と圧力をかける言葉の受け取り方としてどのような個人差があるのか、また、賞賛された方が記録が伸びた人と圧力をかけられた方が記録が伸びた人は生まれ持ったものの違いなのかを調べ、褒めたら伸びるタイプとプレッシャーを与えた方が伸びるタイプは本当に存在するのかを調べるのが今後の課題である。

[5] 謝辞

心理学講座を担当して下さった江村崇先生は1年間研究を助けて下さりまた、心理学の知識や研究方法など様々なことを教わりました。ありがとうございました。また、中川桃花さんには実験の実施を協力していただきました。ありがとうございました。

[6] 参考文献

田中美吏 2008 プレッシャーが運動スキルに及ぼす影響 広島大学大学院総合科学研究科

The influence of pressure on motor skills Yoshifumi TANAKA Graduate school of Integrated Arts and Sciences, Hiroshima University Kagamiyama 1-7-1, Higashi -Hiroshima 739-8521 Japan

清本拓海 2017 褒めることによる人々の行動の影響 高知工科大学マネジメント学部